

Arcserve Replication/HA 18.0 新機能ガイド

リアルタイムにデータを複製して、障害や災害時にも業務を継続

Arcserve Replication/HA 18.0 の主な新機能

Arcserve Replication/HA 18.0 は、最新プラットフォームへの対応に加えて、サーバ全体の複製（フルシステム）シナリオ機能が追加されています。

サーバ全体の複製（フルシステム）シナリオの提供

フルシステムシナリオは、ファイル/フォルダや DB などアプリケーションのデータだけでなく、OS も含めたシステム全体を丸ごとレプリケーションできるため、OS やアプリケーションなど各種設定をそのまま複製先マシンに引き継ぐことが可能です。また、災害や障害時には複製先の各種設定の変更作業を少なくし、簡単に切り替えて業務をすぐに再開できます。フルシステムシナリオでは Windows だけではなく、Red Hat Enterprise Linux, CentOS, Oracle Linux, SUSE Linux Enterprise Server など Linux のサーバも保護することが出来ます。

最新のプラットフォームや環境に対応

Windows Server 2019 に対応しました。OS やプラットフォームのサポート終了が迫るなか、新しいプラットフォームの移行を簡素化し、安全に移行することができます。さらに、Hyper-V シナリオでは Hyper-V の CSV に対応し、クラスタ上で動作する Hyper-V 仮想マシンの災害対策がより簡単に行えるようになります。

新機能の詳細については、[製品ページ](#)、または[カタログセンター](#)でご確認ください。

